

国語 六一 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
 次の文の □ に当てはまる漢字を書きましょう。

おく
 送りがなにも気をつけましょう。

① え □ じぶん
 □ しぐさを □ の
 □ に □ の
 □ た □ の
 □ を
 □ する。

② □ せいぎ
 □ の
 □ を
 □ て
 □ する。

③ □ かんがえ
 □ な
 □ を
 □ を
 □ する。

④ □ かんげき
 □ て
 □ する。

⑤ □ かんがえ
 □ な
 □ を
 □ を
 □ きたえる。

国語 六一二 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

送りがなにも気をつけましょう。

① は を 。

② の を に 。

③ りよう が て 。

④ のお に を れる。

⑤ さわぎがする。

国語 六―三 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
 次の文の □ に当てはまる漢字を書きましょう。
 あ かんじ か

おく
 送りがなにも気をつけましょう。

① きょうり が せかいさん に えらばれる。

② きぬ の ぬの を たつ。

③ きんむさぎ の えんかく を しらべる。

④ げかん の きょうかしよ を きじょう おく。

⑤ すなば で あな を ほる。

国語 六一四 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の に当てはまる漢字を書きましよう。

送りがなにも気をつけましよう。

① ぐつを 。

② に はいけない。

③ の をする。

④ を 。

⑤ の に が 。

国語 六一五 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

送りがなにも気をつけましょう。

① の は、 な である。

② な を 。

③ をする。

④ に 。

⑤ の 。

国語 六一六 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

送りがなにも気をつけましょう。

① 寿司はおいしい。

② が決まった。

③ を 。

④ に は に と われる。

⑤ の について 。

⑥ に て わくする。

国語 六―七 (書き)	第五学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

送りがなにも気をつけましょう。

① をする。

② について、 の を 。

③ パソコンの を入れる。

④ が になる。

⑤ を 。

⑥ を する。

国語 六一八 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

送りがなにも気をつけましょう。

① ことなる かざ を にゆう する。

② しあい で くびすじ をいためる。

③ こめん に やま が うつる 。

④ かん しようしすぎると あぶない 。

⑤ きざし びんせつ をつきつけられる。

国語 六一九 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

送りがなにも気をつけましょう。

① 脱字がないようにする。

② の い を 。

③ あまりの に を 。

④ を する。

⑤ を ことをやめる。

⑥ に を 。

国語 六一十 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

送りがなにも気をつけましょう。

① に の 。

② の を 。

③ が 。

④ をすべらせて を 。

⑤ を する。

国語 六一十一 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

送りがなにも気をつけましょう。

① はいいろ そらもよう こうすい かくりつ ます
 の空模様になり 確率が

② きけん を さつち する。

③ すくいの て を差しのべる。

④ みず を きようきゆう するシステム。

⑤ ぶつ だんに はな を そなえる。

⑥ こども たちの みらい を かんがえる。

国語 六一十二 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
 次の文の □ に当てはまる漢字を書きましょう。

おく
 送りがなにも気をつけましょう。

① てつこうじよ
 □ に つとめる
 ための □ さく
 を考える。

② おおいえ
 □ で ともだち
 を つか
 。

③ さかな
 □ の ほね
 □ がのどにつまる。

④ わたしの げんき
 □ の みなもと
 は あそ
 □ べんです。

⑤ ほじおう
 □ の はなし
 を きく
 。

国語 六一十三 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

送りがなにも気をつけましょう。

① バスから が 。

② トラックから を 。

③ あの の を に 。

④ いる を する。

⑤ おいしい が 。

国語 六一十四 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

送りがなにも気をつけましょう

① を 。

② の みかんはすっかり 。

③ のひびきあり。

④ で された。

⑤ に 、タイムを いきたい。

国語 六一十五 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
 次の文の □ に当てはまる かんじ か
 漢字を書きましょう。

おく
 送りがなにも気をつけましょう

① □ ぜん
 は □ いそげ
 。

② □ ことし
 は □ ほうさく
 で、 □ しゅう
 かくが □ たのしみ
 だ。

③ □ きぼう
 した □ かいしゃ
 に □ しゅうしよく
 が □ きまった
 。

④ □ けんこう
 を □ たもつ
 ためには、 □ しせい
 を □ ただしく
 することも □ たいせつ
 だ。

⑤ 町田市は、かつて □ ようさんぎよう
 が □ さかん
 でした。

国語 六一十六 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
 次の文の □ に当てはまる漢字を書きましょう。

おく
 送りがなにも気をつけましょう

① まじ から □ した をのぞくと、 □ ともだち が □ たいそう し
 ていた。

② この □ ずけい が □ すいちよく であることを □ せつめい
 する。

③ りっぱ □ なとう □ じぎ をもらい □ うけた。

④ きずぐち □ を □ おうきゆうしよち した。

⑤ いっすんさぎ □ は闇。 やみ

国語 六一十七 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
 次の文の □ に当てはまる漢字を書きましょう。

おく
 送りがなにも気をつけましょう

① わたし の まち の としよかん は ぞうしよすう が おおい。

② きよう は わすれ ずに しゅくだい をやること を せんげん した。

③ あいて に せい い を みせる 。

④ かべ 壁に みみ あり しようじ に め あり。

⑤ がくげいかい の いししよう を せん たくした。

国語 六一十八 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
 次の文の □ に当てはまる漢字を書きましょう。
 かんじ か

おく
 送りがなにも気をつけましょう

① やちん
 を おさめ
 た。

② とうぎ
 の けつか
 、みんなが なつとく
 した。

③ てんのうへいか
 がごらん
 になった絵。

④ どぶめこいへ
 を ほうもん
 する。

⑤ かいこ
 のまゆを せんしよく
 した。

国語 六一十九 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

送りがなにも気をつけましょう。

① え戸 を したのは太田道灌だ。

② かれは な をする。

③ は は に 。

④ かの女は な である。

⑤ あの は がうまいことで

から られている。

国語 六一二十 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

送りがなにも気をつけましょう。

① には を のが だ。

② 世界には多くの がある。

③ のことは にして 。

④ による が た。

⑤ 東京都の の を した。

国語 六一二二 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
 次の文の □ に当てはまる かんじ か
 の漢字を書きましょう。

おく
 送りがなにも気をつけましょう。

① にんげん の のう は うのう と さのう に わかれ
 ている。

② おさない こども たちを まえ に ろうどく を おこなう
 。

③ ほうりつ の しけん に のぞんだ
 。

④ かたほう の いいぶん だけでは わから
 ない。

⑤ コーヒーに ぎゅうにゅう と を いれて
 のが すき だ。

国語 六―二三 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
次の文の □ に当てはまる漢字を書きましょう。

おく
送りがなにも気をつけましょう。

① たすけて
おがんだ
くれた
おんじん
の
せなか
を
おもわず

② さんちよう
から
みおろす
と、
すぎ
なみき
が

つらなって
いた。

③ はんちよう
に
すい
せんした。

④ まいあひ
、
じたく
に
ぎゆうにゆう
が
とどけ
られる。

⑤ ゆうびんきよく
の
うらがわ
に
わたし
の
いえ
がある。

国語 六一二四 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
次の文の□にあてはまる漢字を書きましょう。

おく
送りがなにも気をつけましょう。

① え戸 ばくふ の しよだい しようぐん は徳川家康だ。
とくがわいえやす

② りつこうほしや による こうかいとうろんかい が おこなわれ
た。

③ おおく の しよめい を あつめる ため、 ふんき
なければならぬ。

④ その やま のふもとには じゆかい が ひろ がって
いた。

⑤ かれのばん そう は こころ に しみる 。

国語 六一二五 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
 次の文の □ に当てはまる漢字を書きましょう。

おく
 送りがなにも気をつけましょう。

① すてるかみ
 □
 あれば ひろうかみ
 □
 あり。

② かんたん
 □ の □ さ
 がはげしい □ じぎ
 □
 である。

③ しやくほち
 □ は ふとく じゅういりう
 重厚な □ ねいろ
 □ と □ いわれ
 □
 ている。

④ わたし
 □ は はんちよう
 □ を □ せんけい
 □
 している。

⑤ かれの □ ゆめ
 □ は □ うちゅうひいりうし
 □
 になることだ。

国語
六一二六
(書き)

第六学年の漢字(書き)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎ ぶん
次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

おく
送りがなにも気をつけましょう。

① あさばん、 ふたり は ならんで はしって
いた。

② やさしい かの女はみんなから すかれ
いる。

③ ひざが いたく て、 ちようじよう まで のぼれ
もない。 そう

④ わたし せんせい からいただいた いちまい のハガキは
 の たからもの となった。

⑤ ひこうき の もけい が ほしい 。

国語 六一二七 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
次の文の □ に当てはまる漢字を書きましょう。

おく
送りがなにも気をつけましょう。

① ひはん は しょうち の うえ で じぶん の いけん を
の た。

② いま でも ちゅうしゃ の はり を みる の が にがて だ。

③ かれは ようぎ を ひにん している。

④ となりには わかい ふうふ が くらし ている。

⑤ むかし、 しゅくん と けらい は しゅじゅう かんけい を
むすんで いた。

国語 六一二八 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく
送りがなにも気をつけましょう。

① たて よこ
□と□の□を□、□を□
もとめる

② さくしや おおく めいさく あらわし
その□は□の□を□た。

③ こてん おおく ひと おとずれ
かれの□に□の□が□た。

④ しちや ひく おおく さくひん ほぞん
□の□には□の□が□

されていた。

⑤ はいえん なく ひと すくなく
□で□なる□も□ない。

国語 六一二九 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
 次の文の □ に当てはまる漢字を書きましょう。

おく
 送りがなにも気をつけましょう。

① □^{しろ} の □^{いしだん} をそうじする。

② かん □^{ぞう} は沈黙^{ちんもく}の □^{ぞうき} と □^{いわれ} ている。

③ □^{へや} の □^{なか} は □^{いたる} □^{ところ} ほこりだらけだつた。

④ いつもはおだやかながれが □^{すこし} □^{とりみだし} ていた。

⑤ □^{あめ} は □^{よんじつ} まで □^{つづいた} 。

国語 六一三〇 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

送りがなにも気をつけましょう。

① かれは を に ことができます。

② の は られていた。

③ は の である。

④ が ものを 。

⑤ の な は に 。

国語 六一三二 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

送りがなにも気をつけましょう。

① いつのまにか、かれは を いた。

② ももは のも 。

③ は と より 。

④ いつか を してみたい。

⑤ しん の で た

は がよい。

国語 六一三二 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
 次の文の □ に当てはまる漢字を書きましょう。
 かんじ か

おく
 送りがなにも気をつけましょう。

①
 すぐれた □
 せいせき
 □
 で □
 しょうり
 □
 を □
 おさめた
 □。

②
 □
 ちようしよ
 と □
 たんしよ
 □
 は □
 ひようりいったい
 □
 だ。

③
 □
 げんじものがたり
 の □
 げんだいごやく
 □
 を □
 よむ
 □
 ことに
 した。

④
 □
 かいらんばん
 を □
 とどける
 □
 ため、となりの □
 いえ
 □
 を □
 たずねた
 □。

⑤
 ラーメンの □
 おおもり
 □
 を □
 たべ
 □
 て □
 まんぷく
 □
 に
 なった。

国語 六一三三 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
次の文の □ に当てはまる漢字を書きましょう。

おく
送りがなにも気をつけましょう。

① きみ みかた
□ が □ になつてくれるなら鬼おにに
かなぼう
□ だ。

② ちいさな ほん たてて
□ ことに □ を □ はならない。

③ しよくむ ちゆうじつ
かれは □ に □ だ。

④ しお いちばん おおきく みえる
うず □ が □ のは

まんちよう
□ の □ だ。

⑤ さくしか せんもん がっこう
□ になるために □ □ に

かよった
□ 。

国語 六一三四 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
 次の文の □ に当てはまる漢字を書きましょう。
 かんじ か

おく
 送りがなにも気をつけましょう。

① じゃくねんそう の しりよくていか が もんだい になつて いる。

② きようかい で せいしよ を よむ かい に さんか した。

③ いつまでも じゆん すいな きもち を わすれ ないでいて ほしい。

④ い は じんじゆつ という かくげん がある。

⑤ みらい を になう わかもの ひつよう ちから
 は じようほう を しゆしや せん たくする ちから だ。
 な ちから